



この夏の学びと発見！「中高生 NPO 体験セミナー」

菊川市市民協働センターでは、この夏「中高生 NPO 体験セミナー」を開催し、約60名の中高生が地域で活動する NPO 法人の現場を訪れました。

参加者は、災害救助犬の訓練、馬と地域社会の共存、棚田の保全、子どもや外国人への学習支援、対話型読書会、高齢者・障がい者福祉など、さまざまな活動を体験。要救助者役になって救助犬の力を体感したり、普段接する機会の少ない世代や異なる文化を持つ人たちと交流したりと、学校や日常では得られない経験をしました。

参加者からは「普段できない貴重な体験ができた！」「人の役に立って本当に嬉しかった！」などの感想が寄せられ、事後アンケートでは約9割が「大変良かった」と回答しました。

地域で活動する大人たちとの出会いは「地域って面白い」「自分にもできるかも」と、自分の可能性やこれからの一歩を考えるきっかけになったようです。ご協力いただいた NPO 法人の皆さま、ありがとうございました！



まちを彩る竹灯籠ライトアップ

きくがわ灯りの散歩道 on ハロウィーン

菊川のまちで仮装を楽しみながら、竹灯籠やイルミネーションを満喫しませんか？

今年は昨年に加え、赤レンガ倉庫付近の遊歩道（グリーンモール）にも広がり、灯りやダンスでまちをにぎやかに彩ります！スタンプラリーやワークショップなど、多彩なアクティビティが盛りだくさんです。

10月24日(土)

17:00 ~ 19:30

at きくる広場・プラザきくる
駅前遊歩道（グリーンモール）
菊川赤レンガ倉庫



© 菊川市

内容

竹灯籠のライトアップ、お菓子のスタンプラリー
ハロウィーンワークショップ、キッズダンス他

詳しくは、アートコラールきくがわホームページ
(ackikugawa.net) をご覧ください。

参加料

竹灯籠 鑑賞無料
その他体験によって
参加費が異なります



NEWS

きくがわのまちづくり



戦争体験を伝える会展示

8月12日～23日、菊川文庫で「菊川市戦争体験を伝える会」による「郷土と戦争」展示会が開催。防空壕跡や集団疎開、缶詰爆弾など約100点の資料を通して、地域に残る戦争の記憶と平和の大切さを伝えました。



にこやかカフェ 夏休みに居場所づくり

学生が中心となり「ほっとする広いつながり」をテーマに活動する若者団体「にこやかカフェ」。8月10日～18日の10時～20時まで、きくる2階多目的エリアで、中高生の新たな居場所づくりを探るイベントを開催しました。

10月のイベント・講座スケジュール

参加者募集中！

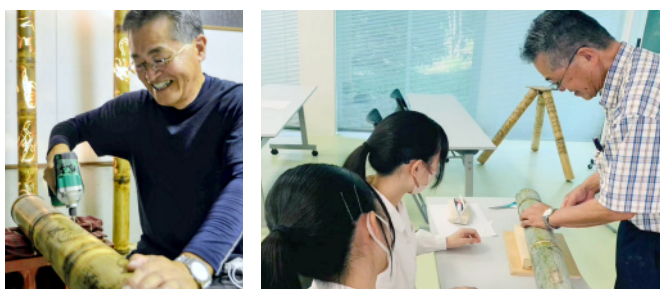
詳しくはきくせん HP▷ イベントをご覧ください→



9/27 日	12/13 日	きくがわおんぱく 2026 ～音とみどりの博覧会～ 各プログラムにより異なる 詳細は HP をご確認ください	主 子育てサポーターばればれ・一般社団法人シナリオ 申 https://kikugawaonpaku.jp/
10/7 水	10/20 火	子育て・学校のこと、ひとりで抱え込まないために。親子ほっとルーム 【7日】 9:00～16:30 小笠児童館 【20日】 13:00～20:00 プラザきくる 1階	主 まなびの庭 問 080-4226-8891(宮木) 参加費：無料 申込不要
11 日		BOUSAI カフェ 9:00～12:00 プラザけやき 1階 ボランティア室	主 ふじのくに防災士菊川市委員会 問 090-7307-7127(杉山) 参加費：無料
16 金		令和8年度 サポステかけがわ出張相談会 9:30～10:20 / 10:30～11:20 プラザきくる 2階 打ち合わせ室	主 サポステかけがわ NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡 申 0537-61-0755 参加費：無料
24 土		第20回 ふれあい広場 9:30～14:30 菊川市民総合体育館	主 ふれあい広場実行委員会 菊川市社会福祉協議会 問 0537-35-3724 参加費：無料
24 土		第48回 菊川だれでも食堂 11:00～無くなり次第終了 龍雲寺 無量殿 (西方 3780-1)	主 菊川だれでも食堂 問 0537-35-2939(龍雲寺 村松) 参加費：100円(お菜銭)
24 土		きくがわ灯りの散歩道 on ハロウィーン 17:00～19:30 きくる広場・駅前遊歩道・菊川赤レンガ倉庫	主 NPO法人アートコラールきくがわ 問 info@kikucen.net 鑑賞料：無料
31 土		多文化共生交流講座 ワールドカフェ in きくがわ 2 ～世界の民族衣装からワクワクのトリビアを探そう！～ 14:00～16:00 プラザきくる 1階 多目的ホール	主 つながる菊 Café プロジェクト 申 tunagarukikucafe@gmail.com 参加費：500円(学生 100円)

菊川びとにインタビュー

市民活動団体 たねあかり 塚本隆男さん



「地域に何か恩返しをしたい」。そんな思いから市民協働センター主催のきくがわ未来塾を受講した塚本さん。そこで放置竹林の問題を知り、仲間との出会いをきっかけにたねあかりを立ち上げました。子どもたちが自分で作った作品を嬉しそうに眺める姿や、灯りの散歩道で「きれいだね」と喜ぶ来場者の声が活動の励みです。新たな出会いや人とのつながりも大きな喜びだといいます。竹灯笼づくりをきっかけに、今では市内外のイベントから声がかかる「たねあかり」。仲間も活動の場も増え、楽しみながら竹に触れ、地域の課題を知ってもらう機会が広がっています。そんな出会いを大切に、地域への想いを形にしています。

レポート

きくがわ未来塾 ここからがスタート！



8月27日、地域の魅力や可能性を学び、自分らしい地域との関わり方を考える「きくがわ未来塾」の公開プレゼンテーションを開催しました。参加者は地域課題への気づきから生まれた「やってみたい」を企画にし、約30名を前に発表。移住者や女性のコミュニティづくり、不登校支援、まちの回遊促進、祭りの担い手育成、障がいのある方の居場所など、8つの企画を発表しました。今回は初めて採点方式を取り入れ、「評価」ではなく「応援する」気持ちで発表を見守りました。市職員からも「協力したい！」との声が寄せられ、企画を実現するつながりも生まれました。未来塾は、ここからがスタートです。